

## 平成30年度事業報告

県下の乗合バス事業は、輸送人員はほぼ横ばいであるが収支率は悪化しており、大変厳しい経営状況である。

こうしたなか岡山県バス協会では、行政の協力や地方自治体の支援を受け、バス利用促進を最重要課題としてとらえ、バスターミナルやバス停の整備、バス利用者へのサービスの向上、渋滞対策等利便性の向上を図るよう努めた。

一方、貸切バス事業は、実働日車当たり収入は安定しているものの、輸送需要の低迷から実働率の減少が続き収支率が減少となった。こうした状況から、運賃の適正収受を継続できるよう尽力し、事業の安定化を図るよう努めた。

事故防止対策として、国交省が策定した「事業用自動車総合安全プラン2020」及び日本バス協会が策定した「バス事業の総合安全プラン2020」に基づく施策を中心に積極的に取り組み、安全・安心なバス事業の信頼回復に努めた。

イベント関係では、第4回目となる「おかやまマラソン」について、交通規制によるバス運行対策、マラソンランナー、関係役員等輸送対策に積極的に協力を行った。また、全国中学校体育大会では、開催会場への輸送について協力を行った。

平成30年6月から7月にかけて、西日本を中心に記録的な豪雨となり、岡山県内は7月7日の台風7号の集中豪雨と重なり、倉敷市真備地区の小田川堤防が決壊するなど各地に洪水がおり、県内各地において甚大な被害を受けた。

これにより、会員バス事業者の事務所やバスの冠水被害があり、事業の継続が不可能になるなど大きな災害となり、日本バス協会とも協働して復旧に協力した。

なお、この豪雨により、被災地の生活の足の確保として、被災者やボランティア、学童・生徒などの輸送、不通となったJR線の代替輸送について、貸切バス事業者が最大限の輸送を提供した。

当協会はこの状況の下、平成30年度事業計画に基づき、安全と安定したバス事業が地域公共交通の重要な役割を果たし、地域の方々の期待に応えられるよう連携して、次のよう取り組んだ。

## 1. 年度会員数・その他(H.31年4月1日現在)

### ①会員数

普通会員 85 (期間中増減 増1、減3)

### ②車両数

一般乗合 719両 (期間中 7両増)

一般貸切 794両 (期間中 22両減)

## 2. 主な会議

(1) 通常会員総会	1回
(2) 理事会(役員会)	4回
(3) 監事会	1回
(4) 各種委員会等	
①財務委員会	2回
②運営委員会	1回
③貸切委員会	4回
④事故防止対策委員会	2回
⑤補助金運用委員会	1回
⑥バスの日検討部会	1回
⑦岡山駅西口バスターミナル運用協議会	1回
⑧岡山駅西口バスセンター運営委員会	4回

### 議題等

#### (1) 第43回通常会員総会

平成30年6月20日(水) 岡山プラザホテル

##### 【議題】

- ① 平成29年度事業報告(案)及び平成29年度会計報告諸表(案)について
- ② その他
  - ・平成30年度事業計画案及び平成30年度収支予算について(報告)
  - ・会員資格の喪失手続き、再入会基準について(報告)

#### (2) の1 第1回理事会(役員会)

平成30年5月29日(火) 岡山プラザホテル

##### 【議題】

- ① 総会に付議する議案について
  - ・平成29年度事業報告(案)及び平成29年度会計報告諸表(案)について

② 会員総会の開催について

③ 職員給与について

④ その他

・会員資格の喪失手続き、再入会基準（内規）について

(2) の2 正副会長会議

平成30年7月12日(木) 岡山県バス協会

**【議 題】**

① 豪雨の被害状況について

② 見舞等対応について

(2) の3 第2回理事会（役員会）

平成30年11月21日（水）岡山プラザホテル

**【議 題】**

① 平成30年度上期（4月～9月）事業報告について

② 新規入会の承認について

③ その他

(2) の4 第3回理事会（役員会）

平成31年3月20日（月）岡山プラザホテル

**【議 題】**

① 2019年度事業計画（案）の承認について

② 2019年度収支予算（案）の承認について

③ 2019年度資金調達及び設備投資の見込みについて

④ その他

(3) 監事会（監事監査）

平成30年5月16日（水）岡山県バス協会 会議室

**【監査内容】**

・平成29年度職務執行状況

・平成29年度事業報告

・平成29年度収支決算（計算書類及びその附属明細書等）について

(4) の① 財務委員会

第1回 平成30年6月6日（水）岡山県バス協会会議室

・乗合バス要素別原価報告書集計（岡山県分）

第2回 平成30年6月12日（火）岡山県バス協会会議室

・乗合バス要素別原価報告書集計（山陽ブロック分）

(4) の② 運営委員会

第1回 平成30年7月25日（水）岡山県バス協会会議室

- ・平成30年7月豪雨被災者の無料バスについて
- ・岡山駅東口案内所エアコン取替について
- ・『優待乗車証』裏面記載事項について

(4) の③ 貸切委員会

第1回 平成30年5月1日(火) 岡山県バス協会会議室

- ・平成30年度事業計画について
- ・新任貸切委員について
- ・その他

第2回 平成30年9月4日(火) 岡山県バス協会会議室

- ・災害時等の輸送体制について
- ・7月豪雨時の輸送について
- ・協会が引き受ける場合の独禁法上の問題点
- ・事業者間の庸車について
- ・その他

第3回 平成30年12月7日(金) 岡山県バス協会会議室

- ・事業者間の庸車について
- ・貸切委員長交代について
- ・貸切持出し委員会(案)
- ・その他

第4回 平成31年1月22日(火)～23日(水) 博多市

- ・貸切バスの運賃・料金に関する意見について
- ・日本バス協会貸切委員会等への要望について
- ・その他

(4) の④ 事故防止対策委員会

第1回 平成30年8月27日(月) 岡山県バス協会会議室

- ・平成30年秋の全国交通安全運動の実施について
- ・平成30年秋の交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・「前照灯の終日点灯」の実施について
- ・事故報告について
- ・平成30年度事業について
- ・その他

第2回 平成30年11月27日(月) 岡山県バス協会会議室

- ・平成30年度年末・年始輸送等に関する安全総点検について
- ・年末・年始の交通事故防止県民運動について

- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・事故報告について
- ・乗合バスの添乗調査について
- ・交差点右左折時横断歩道の手前一旦停止の徹底について
- ・「前照灯の終日点灯」について
- ・年末・年始安全総点検ポスター（案）について
- ・その他

原子力防災研修について

(4) の⑤ 補助金運用委員会

第1回 平成30年7月25日 岡山県バス協会会議室

- ・平成30年度運輸事業振興助成補助金の運用について

(4) の⑥ バスの日検討部会

第1回 平成30年7月25日（水）岡山県バス協会会議室

- ・バスの日の記念事業について
- ・善行者表彰
- ・サービス向上運動
- ・優良乗務員表彰
- ・子ども運賃無料バス運行
- ・各社独自で行う事業について

(4) の⑦ 岡山駅西口バスターミナル運用協議会

第1回 平成30年12月10日（月）両備バス会議室

- ・広島～金沢線の開設に伴う西口BCへの経路について
- ・その他

(4) の⑧ 岡山駅西口バスセンター運営委員会

第1回 平成30年5月29日（火）両備バス会議室

- ・平成29年度決算報告
- ・その他

第2回 平成30年9月6日（木）両備バス会議室

- ・「2018おかやまマラソン」におけるバス待機場場について
- ・待合室へのWi-Fi設置について
- ・長期運休による発着料の徴収について
- ・岡山駅西口バスターミナルのHPについて
- ・その他

第3回 平成30年12月10日(月)両備バス会議室

- ・待合室へのWi-Fi設置経過報告

- ・ B T 開設 1 0 周年記念事業の展開方法について
- ・ その他

第 4 回 平成 3 1 年 1 月 1 8 日（金）両備バス会議室

- ・ 開設記念事業案の検討

### 3. 業務の概要

#### (1) バス輸送改善事業

バス輸送の改善を図るため、岡山駅東口・西口バスターミナルの整備や県内各所バス停の整備を行い、低床スロープバスの導入の促進を図るなど輸送環境の改善及び輸送サービス改善等のため主に以下の事業を実施した。

ア. 岡山駅東口バスターミナルへ新規バス路線の乗り入れ希望に応じて、西日本旅客道(株)岡山支社の主催する『岡山駅東口バス事業者連絡会議』で乗り入れを検討し、承諾を得て、今後、乗入するバースについて、『岡山市公共交通網形成協議会、幹事会』で検討することとされた。

- ・ 岡山市が推進する「岡山市バス路線網の見える化」に積極的な協力体制を構築した。

- ・ 岡山駅東口バスターミナルの運行状況を、デジタルサイネージで表示する「通称『えきバス時刻表』」（岡山駅東西通路の新幹線改札口及び在来線中央改札口と駅東口バス案内所側面に岡山市が設置）の管理運営を行い、遅延情報等も含めた運行状況を表示し利用者の利便性を向上させた。

イ. 岡山駅西口バスターミナルを発着する、高速バス、空港リムジンバス、岡山市北西方面路線バス及び貸切観光バスの乗降について、安全対策及び利用者サービスの向上を図るため、バスターミナル及び待合所の適切な管理・運営を行った。（待合所に無料W i - F i を設置）

ウ. 岡山市における自家用車中心の交通体系から公共交通を中心とした交通体系に転換していくため、岡山市、J R、市内乗合バス事業者と協働して、公共交通の役割を考え、利用者の意見を聞くための「おかやま交通探検隊」に参画した。

エ. バス停整備等

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ・ バス停留所上屋新設(東紅陽台) | 1 カ所（交付金事業）     |
| ・ バス停留所上屋補修       | 4 カ所（交付金事業）     |
| ・ バス停案内板 L E D 化  | 1 カ所（交付金事業）     |
| ・ 県内バス停標柱新設・補修    | 1 0 1 カ所（交付金事業） |

#### (2) 安全輸送体制の確保

国の定めた「事業用自動車総合安全プラン2020」及び日本バス協会で策定した「バス事業の総合安全プラン2020」に基づき主に次の事業を実施した。

ア. 春、秋の交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検において、事故防止対策委員会を中心に、安全運行、事故防止対策等を中国運輸局岡山運輸支局、岡山県警察本部の指導と協力を得て、会員に周知・徹底するとともに、交通安全活動に参画し広く交通安全を働きかけた。

- ・交通安全のポスターの配付 880枚（交付金事業）
- ・交通安全ポケットティッシュの配付 15,400個（交付金事業）
- ・交差点右左折時一旦停止通知用ステッカー2,000枚（交付金事業）

イ. バス事故の3割を占める車内事故防止のための「車内事故防止キャンペーン」を7月に実施し、利用者への「ゆとり乗降」の啓発や運転者に対する「ゆとり運転」を呼びかけ、ポスター、チラシ等により啓発活動を行った。

- ・チラシ配布依頼：岡山県トラック協会、岡山県タクシー協会、JAF岡山支部
- ・シートベルト着用啓発シート 40,000枚（交付金事業）
- ・シートベルト着用啓発ステッカー 1,500枚（交付金事業）
- ・バス優先発車協力依頼ステッカー 1,000枚（交付金事業）
- ・貸切バス利用者に、シートベルト着用啓蒙の紙コップを配付し、着用を促した。 40万個（交付金事業）

ウ. 運行管理者、運転者研修事業

運行管理業務の適切な実施、運転者の事故防止等を図るための各種講習等安全運転に関する周知に次のような助成を行い事故防止に努めた。

- ・運輸安全マネジメント講習 93名（交付金事業）
- ・運行管理者等一般講習 338名（交付金事業）
- ・運行管理者等基礎講習 101名（交付金事業）
- ・運行管理者試験事前講習 2回（交付金事業）
- ・バスドライバー研修 34名（交付金事業）
- ・運転者適性診断 778名（交付金事業）

エ. 安全教育、車内、車外事故防止の対策として、EMS・ドライブレコーダーの導入促進、健康起因事故防止のためSAS簡易検査の助成を行った。

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 47両（交付金事業）
- ・SAS簡易検査助成 113名（交付金事業）

オ. その他安全対策を図るための教材配布等

- ・安全運転手帳（2019年安全運転のしおり）2,600冊（交付金事業）
- ・運転記録証明交付 1,439名（交付金事業）

- ・安全対策のマニュアル集 20組 (交付金事業)
- ・整備管理者選任後研修資料 90冊 (交付金事業)
- ・運転者に対して行う指導監督マニュアル 700冊 (交付金事業)
- ・運行管理者のための指導・監督ツール 130冊 (交付金事業)
- ・健康管理ハンドブック 3,000冊 (交付金事業)

カ. 交通安全意識 (飲酒運転撲滅、シートベルトの着用等) の高揚を図るべく、県下バス事業者で引き続きラッピングバスの運行を行い、啓蒙に努めた。

キ. 路線バスの添乗調査

乗客の安全性の向上、車内事故防止対策の強化及びサービス体制の促進を図るため、路線バスの運転状況を添乗により調査し、運転者指導を行った。

乗合バス添乗調査 (10事業者 85回)

ク. 貸切バス事業者の適正化を図るため、道路運送法の一部を改正する法律に基づき設立された『一般貸切旅客自動車運送適正化機関』へ納付する貸切バス事業者の負担金について、その一部を助成。 (79事業者)

ケ. 日本バス協会において、貸切バス事業の安全性に対する取り組み状況について評価・認定し、利用者や旅行業者などに情報提供を行う「貸切バス事業者安全性評価認定制度」について、次の取り組みを行った。

- ・申請事業者の訪問審査・・・15事業者実施
- ・貸切バス事業者安全性評価認定制度説明会開催 (出席者49名)

コ. ドライブレコーダーを用いた運転者への指導監督が義務付けられたため、NASVAの指導員を招き講習を実施。 (出席者63名)

### (3) 環境対策の推進

ア. 環境対応車両の導入の促進を図るとともにエコドライブの推進を図った。

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 47両 (再掲)

イ. 安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となる不正改造車を排除するため、強化月間(6月中)において、排除のための啓発、情報収集、従業員に対する指導、自主点検の実施を行い、積極的に排除に努めた。

ウ. 「バスの日記念事業」において、アイドリングストップ運動の推進を図るなどアイドリングストップを推進した。

エ. 貸切バス利用者にゴミ袋を配付し、環境対策の啓蒙と環境整備に努めた。

ゴミ袋 92万枚 (交付金事業)

### (4) バス活性化事業の推進



- ア. 9月20日「バスの日」を中心にサービス向上運動を展開、バスの日の子ども運賃無料を実施するとともに、優良乗務員・善行者表彰を行うなど、安全で安心なバス、人と環境にやさしいバス、便利で快適なバスとして認識してもらうよう努めた。
- イ. 子どもに身近なバスの役割や良さを知ってもらうため「こどもの日」に子ども運賃を無料として利用してもらった。(県内10乗合バス事業者)
- ウ. 「岡山県公共交通教室連携会議」が実施するバリアフリー教室やバスの乗り方教室などの開催について、協賛し公共交通を利用しやすい環境づくりに推進した。
- エ. 「岡山県道路交通渋滞対策会議」「岡山県道路利用者会議」などの会議を通じて、国、岡山県、警察本部、岡山市などに渋滞箇所の緩和対策を積極的に要請を行った。
- オ. 「岡山県地域公共交通対策検討会」「岡山市公共交通網形成協議会」「路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会」などを通じ、岡山市の交通体系のあり方について、バス事業を円滑に推進するため意見を述べ、検討し、公共交通を活かした都市づくりの構築に協力した。
- カ. 「倉敷市地域公共交通会議」において公共交通網形成計画に基づく路線別ナンバリング・カラーリングなど、事業の推進に積極的に努めた。
- キ. 津山市が主催する「公共交通利用の日」において、イベントの協力をを行い、バス利用の促進に努めた。

#### ク. 利用促進グッズ

バス利用促進として、「バスの日」や「バスの乗り方教室」などのイベント行事の際にバス利用促進グッズを配付。

- ・オリジナルマグネット 13,000個(交付金事業)
- ・オリジナルぬりえ 3,000組(交付金事業)
- ・オリジナルペーパークラフト 3,000組(交付金事業)

### (5) 運輸事業振興助成交付金の適切な運用等

ア. 役員会、補助金運用委員会で協議し岡山県の認可を得て次の事業を実施した。

事業の名称	事業金額
バス停留所整備事業	4,453,474円
輸送サービス改善事業	6,086,133円
安全運行対策事業	14,264,734円

維持運営管理事業	1,444,659円
合 計	26,249,000円

イ. 日本バス協会の助成制度を次のとおり活用した。

事業名称	数量	金額	備考
人と環境にやさしいバス普及事業	2両	594,000円	ノンステップ
〃	1両	99,000円	低床スロープ
〃	11両	1,100,000円	衝突被害軽減ブレーキ装備車
貸切バス助成事業	7両	231,000円	車両購入
大型二種免許取得養成助成事業	17名	731,000円	二種免許取得
利子補給事業	2社	499,435円	利子補給額
合 計		3,254,435円	

#### (6) 各種イベントへの参画等バス利用促進

「おかやまマラソン2018」において、ランナー輸送、役員輸送、岡山駅と会場のシャトルバス等円滑な輸送に協力。(39台)

#### (7) 豪雨災害による被災者等の輸送及び不通JR線の代替輸送

6月から7月にかけて西日本を中心に記録的な豪雨となり、岡山県内は7月7日台風7号の集中豪雨が重なり、倉敷市真備地区の小田川堤防が決壊するなど各地で洪水が起り甚大な被害を被った。

この豪雨で被災者やボランティアの方々のバス輸送、被災学童・生徒の通学輸送、不通となったJR線のバスでの代替輸送など緊急な対応を図った。

(年度内の県内対応台数 延べ7,800台)

#### (8) 陳情・要望等について

バス輸送の振興、安全性の確保、環境対策、バリアフリー対策、渋滞対策等を円滑に遂行するため、バス関係諸制度の見直しや予算及び税制などに関し関係機関に次のような要望を行った。

##### ア. 「陳情書」

平成30年11月2日、自由民主党岡山県支部連合会 岡山県議団あて平成31年度岡山県予算編成に関する個別懇談会において、次の事項を重点的に要望した。

- ・地域公共交通の維持、改善の取組み及び平成31年度バス関係予算の確保について

- ・「地域振興特定路線維持対策費」の拡充
- ・「運輸事業振興助成交付金制度」の継続及び拡充
- ・「環境対応バス導入加速事業補助金」の継続及び拡充
- ・貸切バスの輸送に関する予算の拡充について
- ・税制関係
  - 乗合バス車両の取得に係る非課税措置の延長（自動車取得税）
  - エコカー減税制度の延長（自動車取得税、自動車重量税）
  - グリーン化における11年以上の乗合バス車両の特例措置の延長（自動車税）
  - バリアフリー車両の減税措置の延長及び貸切バスの対応（自動車取得税）
  - ASV装置車両の減税措置の延長（自動車取得税）
- ・自動車関係諸税の大幅な負担軽減
  - 営自格差の見直し反対
  - 自動車関係諸税の更なる大幅軽減措置
  - 軽油引取税の旧暫定税率の廃止
- ・中小企業投資促進税制の延長と対象の拡大（所得税、法人税、法人住民税、事業税）
- ・消費税引き上げに際しての税負担の軽減
  - 自動車取得税の廃止
  - 自動車税に環境性能課税が導入するなら、軽減措置の導入
- ・外形標準課税の適用拡大によるバス事業への負担増反対

## （9）その他

- ア. 乗合バス車内ポスター掲示、営業所へのポスター掲示・チラシ配付等による行政からの、啓蒙・広報等の協力
- ・岡山県議会議員及び岡山市議会議員選挙啓発
  - ・いじめ防止啓発
  - ・不正軽油対策ポスター
  - ・予防救急ポスター
  - ・おかやまマラソン2018
  - ・おかやま桃太郎まつり
  - ・クールチョイス
  - ・踏切事故防止キャンペーン
  - ・愛の献血助け合い運動
  - ・アルコール関連問題啓発
  - ・冬季啓発

- ・不正改造車を排除する運動
- ・G20岡山保健大臣会合開催
- イ. バス関係法令・通達等の周知
- ウ. 各種会議・イベントへの参加
- エ. 統計資料等の作製配布
- オ. 日本バス協会、中国バス協会事業の推進及び協力

#### **※事業報告の附属明細書**

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。